

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日（中間配当を実施する場合）

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
事務取扱場所 （郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） （インターネットホームページURL）	☎0120-176-417 http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告により、当社のホームページに掲載します。 URL http://www.mars-eng.co.jp/kessan/index.html ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	東京証券取引所

株主様ご優待のご案内

3月31日現在、100株以上保有の株主様に下記のご優待をご用意しております。同封のカタログ「めぐり旅」よりお好きなものをお選びいただけます。詳細につきましては、カタログをご覧ください。

●100株以上

3,000円相当の地方特産品
（カタログより選択）



●500株以上

5,000円相当の地方特産品
（カタログより選択）



●同封の専用ハガキにてお申込みください。

お申込み締切日 平成23年8月31日(当日消印有効)

●株主ご優待に関するお問い合わせ先(6月30日より開設)
株主様優待事務局 ☎0120-156-533

[マースジャーナル]

第37期 年次報告書

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

Vol.10

MARS Journal



株式会社 マースエンジニアリング

〒160-8420 東京都新宿区新宿1-10-7
TEL. 03-3352-8555(代)
URL: <http://www.mars-eng.co.jp>



株式会社 マースエンジニアリング

パーソナルPCシステム全国導入達成！ きめ細かな対応で高い付加価値を提供します。



代表取締役社長 松波 明宏

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災された株主の皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当連結会計年度におけるパチンコ業界は、従来に比べて少額で遊技できる低玉貸営業が遊技ファンに支持され、全国的に普及しましたが、低玉貸営業の反動で総じて売上高は減少傾向にあり、パチンコホールを取り巻く経営環境は厳しいものとなりました。

そのような状況の中で、当社グループは玉積み、玉運びをなくし、少数精鋭でホール運営ができる「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を主力システムと位置付け積極的に販売してまいりました。平成18年より販売開始したパーソナルは、玉積み演出が主流の当業界において、経費削減、労働環境改善、利便性の良さが徐々に認知され、遂に全国47都道府県で導入実績をあげることができました。

今後は、顧客ニーズに合わせてセレクトできる4種類のパーソナルをはじめ、景品管理システム、ホールコンピュータ、Air紙幣搬送システム「HAYATE疾風」など、トータルシステムでの提案ができる強みと、充実したサービス体制で高い付加価値を提供し、競合他社との値引き競争に距離を置いた戦略で、更なるシェア拡大を目指してまいります。

RFID事業においては、健診ステーションを全国の医療施設に拡販した他、学童施設や低価格帯の飲食店へ初導入を果たし、今後の成長分野として更なる拡販を見込んでおります。

ホテル関連事業においては、マースガーデンウッド御殿場が昨年10月にオープンし、早期営業黒字化を目指しております。

株主の皆様には、今後とも格段のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

当連結会計年度の業績

当連結会計年度の業績は、売上高267億円（前期比8.9%減）、営業利益は55億69百万円（同24.1%減）、経常利益は56億95百万円（同23.8%減）、当期純利益は21億51百万円（同52.3%減）となりました。なお、セグメント別の売上高及び営業損益については、セグメント間の取引を相殺消去しております。

〔アミューズメント関連事業〕

●プリペイドカードシステム

当社グループは、少人数で効率的なホール運営ができる「パーソナルPCシステム（以下、「パーソナル」という。）」を主軸システムとして拡販してまいりました。

4種類のラインアップを持つパーソナルは、ホールの経営効率が高い上、遊技ファンにおいても利便性が良く、災害時の避難経路の確保や停電時のセキュリティの高さなど、市場から高い評価を得ています。当社グループではトータルシステムでの提案と充実したサービス体制の強みを活かし、競合他社との値引き競争に距離を置いた販売を展開してまいりました結果、当連結会計年度のパーソナルの売上実績は223店舗、発売以来の累計導入（実稼働）店舗数は当連結会計年度末時点で788店舗となりました。また、パーソナルを含めたサイクルカードシステムの売上実績は229店舗、導入（実稼働）店舗数は累計2,092店舗（市場シェア21.4%）となりました。この結果、当システムの個別売上高は116億36百万円となりました。

●景品管理システム

高いブランド力とシェアを誇る景品管理システムは、他のシステムと連動して遊技ファンの利便性やセキュリティの向上を図ることを可能にし、提案販売を行ってまいりました。この結果、当システムの個別売上高は23億3百万円となりました。

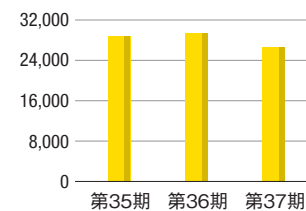
●RFID

長年にわたる技術とノウハウを活かし、あらゆる分野の展示会に積極的に出展して実績をあげるとともに、新たな市場の模索に努めてまいりました。

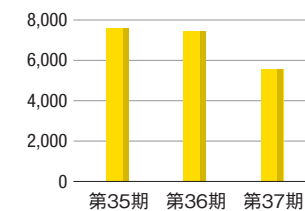
医療分野では、「健診ステーション」を全国に拡販し、導入件数が増加いたしました。教育分野では、「児童安全システム」を公共施設に初導入いたしました。また、外食分野では、少人数での店舗運営をサポートする「非接触ICカード多機能端末」や来店時の「予約受付端末」が初導入となり、今後の成長分野として更なる拡販を見込んでおります。この結果、RFIDの個別売上高は12億35百万円となりました。

その他品目の個別売上高を合計しました結果、アミューズメント関連事業の個別売上高は261億55百万円（前期比9.1%減）となり、営業利益は61億30百万円となりました。

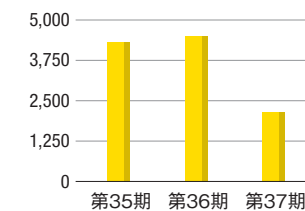
売上高(百万円)



経常利益(百万円)



当期純利益(百万円)



〔ホテル関連事業〕

ホテルサンルート博多は、JR博多駅に近い立地の良さと同ホテルチェーンの中で表彰される程の質の高いサービスが評価され、同地区の中で高稼働を維持しております。静岡県御殿場市初のリゾートホテルとして平成22年10月10日にオープンいたしましたマースガーデンウッド御殿場は、宿泊プランの拡充と様々な広告媒体を通じた宣伝活動で認知度の向上を図り、早期営業黒字化を目指しております。この結果、ホテル関連事業の個別売上高は5億45百万円（前期比1.4%増）となり、営業損失は5億61百万円となりました。

次期の見通し

当社グループの主要販売先であるパチンコ業界は、日本経済の停滞に加え、東日本大震災の影響により、設備投資意欲の抑制、部材供給の遅延、節電の影響による営業活動の制限等も懸念され、経営環境は一層厳しい状況になるものと予想されます。

このような状況の中で、当社グループは開発、製造、販売、メンテナンスを一貫体制で行い、一層のコスト削減に努めるとともに、顧客ニーズを先取りした製品の開発を積極的に進め、周辺設備への更新需要の掘り起こしを行ってまいります。

当社グループが業界標準化を目指して提唱してきましたパーソナルは788店舗となり、パーソナルの導入効果が業界内で認知されてきました。競合他社の参入で値引き競争が激化しているものの、リーディングカンパニーとして長年積み上げてきた実績やブランド力、付加価値の高い機能性や利便性、トータルシステムで提案できる商品ラインアップの多さを武器に差別化を図り、パーソナル導入件数の更なる増加を見込んでおります。

RFIDにおきましては、実績のある健診センター向けシステムを更に拡販すると同時に、新規分野への展開を進めてまいります。低価格化が進む外食分野向けには、少人数での店舗運営を可能にする非接触ICカード多機能端末の拡販に努めてまいります。また、業務・資本提携先の株式会社東研との共同開発や販売を進め、新たな需要を発掘し、将来の事業の柱へと成長させていくことを目指してまいります。

ホテル関連事業におきましては、東日本大震災の影響で観光を自粛する基調にあり、海外からの観光客も激減していることから苦戦が予想されます。コストの抑制や宿泊プランの見直しを行いつつ、質の高いサービスを維持してまいります。昨秋オープンしたマースガーデンウッド御殿場は認知度の向上を図り、早期営業黒字化を目指します。

以上により、次期の連結会計年度の業績は、売上高280億円（前期比4.9%増）、営業利益49億80百万円（前期比10.6%減）、経常利益51億円（前期比10.4%減）、当期純利益28億円（前期比30.1%増）を見込んでおります。



パーソナルPCシステム 全国導入達成!

パチンコ業界において、ホール店様の玉運び・玉積み業務をなくし、少人数で効率的なホール運営を可能にした画期的な当社独自の「パーソナルPCシステム」。2006年3月、長崎県のホールに初めて導入されて以来、この新たなスタイルが業界内に広く認知されるようになり、2010年12月に高知県のホールへの導入により、パーソナルPCシステムが日本全国47都道府県すべてに導入される運びとなりました。

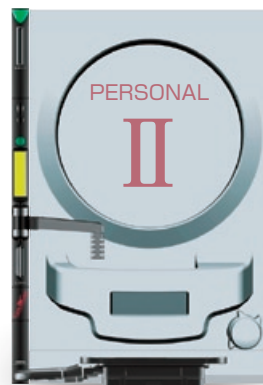
お客様のコスト・業務削減のニーズに的確に応え続けるマースの営業活動によって、市場のシェアは8%を超えました。昨年「PERSONAL IV」を市場に投入するなど、関連製品・サービスも含めたきめ細かい対応を続けることで、今後も更なる導入を進めてまいります。



パーソナルPCシリーズのラインアップ



玉箱ストック可。最速計数、最高セキュリティの標準モデル。



大型工事不要。パーソナル化が容易なシリーズ人気モデル。

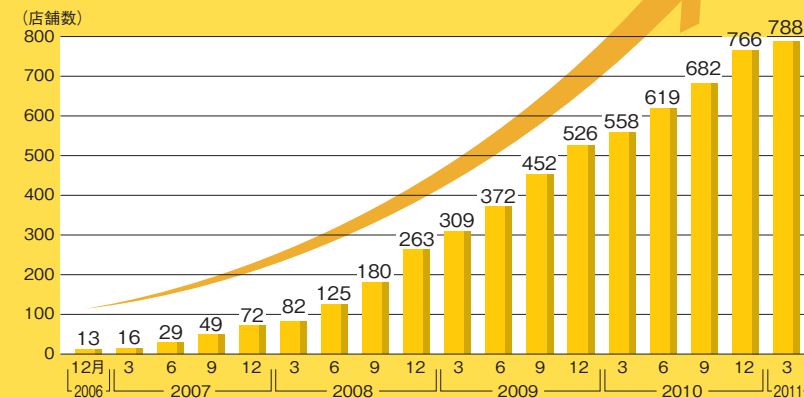


玉箱ストック可。スクリュー機構による高速計数モデル。



操作ラクラク。7セグLED&テンキー搭載の最新モデル。

●パーソナルPCシステムの導入店舗数(累計)



パーソナルPCシステムは、遊技客の利便性向上、ホール従業員の負担の大幅削減、ホール経営者の効率的なホール運営という複数のメリットを提供しています。

数多くのパチンコホールから支持されているパーソナルPCシステムは、このたび全国47都道府県すべてに導入された上、導入店舗数も700店を突破いたしました。

パーソナルPCシステムが全国各地に続々と導入されています。



四海樓 HEP FIVE様
[大阪府大阪市]

JR大阪駅と梅田駅の近くにある商業施設「HEP FIVE」にはファッション・雑貨・グルメ・アミューズメント等、170以上のショップが出店し、いつも多くの人で賑わっています。屋上にシンボリックな観覧車がある同施設の地下2階に、大阪の老舗店舗「四海樓 HEP FIVE」様が営業しています。

この地域初となる分煙コーナーは中通路を挟んで喫煙コーナーと禁煙コーナーに分け、完全分煙を実現しています。これは同店の長年培ってきたお客様への心配りともいえるサービスであり、お客様から高く評価されています。また、同店様の質の高い様々なサービスは、多くの女性客に支持されています。

四海樓 HEP FIVE様のコメント

当店は「大阪といえば・・・四海樓」、「貴方のしたいがここにある」、「お客様と共に創造し続ける」をモットーにお客様に愛されるホールづくりを目指しています。利便性やセキュリティの高さで導入したパーソナルは、お客様一人一人にとって最高の時間と思い出を提供できる空間を創造する店舗づくりに一役買っています。

今後もお客様が望む多くの「・・・したい」に応えるような様々な空間やサービスの提供をグループ全体で努めてまいります。



プレイランドキャッスル大曽根店様
[愛知県名古屋市中区]

JR大曽根駅からすぐの場所に、温浴施設を併設した複合施設として、遊技機合計1,216台の超大型店「プレイランドキャッスル大曽根店」様がグランドオープンしました。

同店様にはパチンコ機全頭にパーソナルPCシステム、景品管理システム、ホールコンピュータ、Air紙幣搬送システムに至る当社のトータルシステムが導入されました。広い店内もスムーズなオペレーションで、キャビンアテンダント風の制服に身を包んだ女性スタッフが、明るい笑顔でお客様をお出迎えし、隅々まで行き届いた丁寧な接客サービスでおもてなしをしています。

プレイランドキャッスル大曽根店様のコメント

近未来をコンセプトに、複数メーカーの各台計数システムを比較・検討し、システムの完成度や利便性、そして手元の出玉を手で確かめられるマースのパーソナルIを採用しました。

パーソナルIを全頭に導入したことで、空間の快適性や提供するサービスや店舗オペレーションが飛躍的に向上しました。また、業務にゆとりができたことで、アルバイトから役職者まで身だしなみや話し方、表情や心配り・気配りの指導を徹底し、一段上の接客サービスを提供しています。

TOPICS 1

東北地方太平洋沖地震に対する復興支援

平成23年3月11日に発生しました東北地方太平洋沖地震により、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

当社グループではこのたび、被災されました皆様の救済と被災地復興の支援として、日本赤十字社を通じて義援金1千万円を寄付いたしました。また、御殿場市役所のご協力を得て、ミネラルウォーター3万本(500mlボトル、24本×1,250ケース)を福島県相馬市に輸送いたしました。

被災地の皆様のご健康と一日も早い復興を心より祈念申し上げます。



TOPICS 2

品質向上に対する当社の取り組み

当社は平成8年にISO9001(品質マネジメントシステムの国際規格)を取得し、日々品質の向上に努めています。

静岡県御殿場市にある東富士工場(製造部)では、全社員及びパートタイマーの品質意識の高揚、ISO9001の品質レベルの維持・向上を目的として、毎年11月を品質月間と定め、品質月間活動に取り組んでいます。社員・パートタイマーを問わず品質標語を募集し、期間中は優秀な品質標語を工場内に掲示して品質意識の高揚を図るとともに、期間終了時にはグループやチームに分かれて改善をテーマに発表会を開催し、更に上の品質を目指した活動を行っています。



東富士工場での品質向上策の発表会の様子

グループ
ニュース

1

株式会社ウインテック会長が発明者注目度番付3位に

経営分析、競合調査、特許分析の専門会社が「電気機器業界」における注目度の高い発明者をまとめた「番付トップ100」を発表し、当社子会社の株式会社ウインテック会長の寺島利勝が3位に選ばれました。番付トップ100は、平成22年11月末までに公開されたすべての特許

について、発明者ごとに評価・採点しており、寺島は紙幣識別機やICカードリーダー関連の特許が高く評価されました。

また、株式会社ウインテックは平成23年2月17日に品質マネジメントシステムのISO9001を取得し、品質面でも高く評価されています。



寺島利勝会長

グループ
ニュース

2

マースガーデンウッド御殿場、新プラン続々登場!

昨年10月にオープンしましたマースガーデンウッド御殿場がお客様のニーズにお応えして、続々と新プランを発表!

1泊2食付のスタンダードホテルステイプランをはじめ、泊まってみたくて食事は不要という方にはリフレッシュステイプラン、気の合う友

達同士で買い物・温泉・エステとプチ旅行してみたいという方には、女性限定の女子会ステイプランがお奨めです。



●詳しくはこちら <http://www.mars-gw.jp>
●ご予約・お問い合わせ TEL. 0550-70-1170

グループ会社紹介

① 株式会社マースコーポレーション

ホール向けマースエンジニアリング製品のリース販売及び貸金業務、マースグループ保有不動産の賃貸借管理。

② 株式会社マーステクノサイエンス

RFID(非接触データキャリア)事業、ICカードの販売、情報処理サービスの提供、関連ソフトの開発。

③ 株式会社ウインテック

電子機器及び情報機器の設計・製造・販売、並びにメカトロニクス関連の技術指導。自社開発製品は、紙幣識別機、カードリーダー、自動販売機、カードプリンタなど。

④ 株式会社マースプランニング (旧:株式会社ホテルサンルート博多)

「マースガーデンウッド御殿場」並びに「ホテルサンルート博多」の運営・管理。

⑤ 株式会社マースラインテック

パチンコ島補給装置の設計及び製造。

⑥ 株式会社マースフロンティア

コンピュータ関連用品、電子機器等の企画及び販売。

⑦ 株式会社マースネットワークス

カードシステムの第三者管理、情報処理機器の企画・販売、情報処理サービス提供、コンテンツ配信事業。

MARS Network [グループ会社／事業所一覧]

●本社

東京都新宿区新宿1-10-7

●札幌営業所

札幌市白石区南郷通8丁目北2-25
第3タヂカビル

●仙台営業所

仙台市青葉区大町1-3-7 横山ビル

●大宮営業所

さいたま市中央区新中里5-11-6

●千葉営業所

千葉市稲毛区小仲台2-3-12
こみなと稲毛ビル

●東京営業所

東京都新宿区新宿1-11-16
サンサーラ第五御苑ビル

●西東京営業所

東京都府中市栄町3-1-1

●横浜営業所

横浜市保土ヶ谷区神戸町134
YBPウエストタワー

●静岡営業所

静岡市葵区黒金町59-7
ニッセイ静岡駅前ビル

●名古屋営業所

名古屋市中区大須1-35-18 一光大須ビル

●京都営業所

京都市中京区烏丸通御池下ル
虎屋町577-2 太陽生命御池ビル

●大阪営業所

大阪市西区新町1-13-3 四ツ橋KFビル

●広島営業所

広島市中区大手町2-8-5
大手町センタービル

●福岡営業所

福岡市博多区博多駅東3-11-28
博多サンシティビルⅡ

●鹿児島営業所

鹿児島市西千石町17-3
太陽生命鹿児島第二ビル

●北見サービスステーション

北見市高栄東町1-11-37

●盛岡サービスステーション

盛岡市東新庄1-27-1

●郡山サービスステーション

郡山市桑野2-2-16 藤尾ビル

●松本サービスステーション

松本市島立302-5

●新潟サービスステーション

新潟市中央区出来島1-2-12
DNビル

●金沢サービスステーション

金沢市鞍月5-181

●兵庫サービスステーション

神戸市中央区東川崎町1-3-3

●松山サービスステーション

松山市空港通1-3-16 土居田OKビル

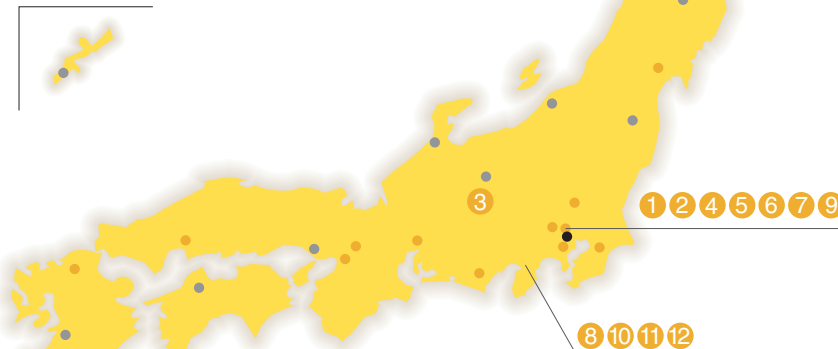
●熊本サービスステーション

熊本市水前寺1-20-22 水前寺センタービル

●沖縄サービスステーション

浦添市伊祖1-1-21

●…本社
●…営業所
●…サービスステーション



グループ会社／主要事業所

① 株式会社マースコーポレーション

東京都府中市栄町3-1-1

② 株式会社マーステクノサイエンス

東京都新宿区新宿1-8-5
新宿御苑室町ビル

③ 株式会社ウインテック

長野県埴科郡坂城町中之条1375-1

④ 株式会社マースプランニング (旧:株式会社ホテルサンルート博多)

東京都新宿区新宿1-10-7

⑤ 株式会社マースラインテック

東京都新宿区新宿1-10-7

⑥ 株式会社マースフロンティア

東京都新宿区新宿1-10-7

⑦ 株式会社マースネットワークス

東京都新宿区新宿1-10-7

⑧ 裾野技術センター

静岡県裾野市伊豆島田818-8

⑨ R&Dセンター

東京都新宿区新宿1-2-7
新宿東共同ビル

⑩ 東富士工場

静岡県御殿場市柴怒田961-45

⑪ テクノ流通センター

静岡県御殿場市東田中2-22-25

⑫ パーツセンター

静岡県三島市南町8-5

連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)		
科 目	当連結 会計年度末 平成23年 3月31日現在	前連結 会計年度末 平成22年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	36,205,889	39,134,976
固定資産	20,621,834	18,315,022
有形固定資産	14,285,067	11,879,400
無形固定資産	216,909	188,596
投資その他の資産	6,119,856	6,247,025
資産合計	56,827,724	57,449,998
負債の部		
流動負債	11,440,811	13,199,035
固定負債	5,769,695	5,853,887
負債合計	17,210,506	19,052,923
純資産の部		
株主資本	39,890,979	38,846,034
その他の包括利益累計額	△273,762	△448,959
純資産合計	39,617,217	38,397,075
負債純資産合計	56,827,724	57,449,998

連結損益計算書(要旨)

(単位:千円)		
科 目	当連結 会計年度 (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで)	前連結 会計年度 (平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで)
売上高	26,700,312	29,319,307
売上原価	13,259,311	14,359,208
売上総利益	13,441,001	14,960,098
販売費及び一般管理費	7,871,458	7,619,131
営業利益	5,569,542	7,340,966
営業外収益	157,828	145,081
営業外費用	32,329	11,212
経常利益	5,695,041	7,474,835
特別利益	145,831	288,619
特別損失	1,257,897	21,144
税金等調整前当期純利益	4,582,974	7,742,310
法人税、住民税及び事業税	2,386,880	3,077,960
法人税等調整額	44,326	140,553
少数株主利益	—	12,351
当期純利益	2,151,768	4,511,445

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:千円)		
科 目	当連結 会計年度 (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで)	前連結 会計年度 (平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,154,721	3,541,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,786,809	△2,204,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,105,668	△1,114,223
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,380	683
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△1,740,137	223,510
現金及び現金同等物の期首残高	14,487,990	14,264,479
現金及び現金同等物の期末残高	12,747,852	14,487,990

連結株主資本等変動計算書(要旨)

当連結会計年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで) (単位:千円)					
	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成22年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	31,801,583	△9,261,478	38,846,034
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△1,106,772		△1,106,772
当期純利益			2,151,768		2,151,768
自己株式の取得				△51	△51
株主資本以外の項目の連結会計年度中の 変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,044,996	△51	1,044,944
平成23年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	32,846,579	△9,261,529	39,890,979

	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利益 累計額合計	
平成22年3月31日 残高	△455,903	6,943	△448,959	38,397,075
連結会計年度中の変動額				
剰余金の配当				△1,106,772
当期純利益				2,151,768
自己株式の取得				△51
株主資本以外の項目の連結会計年度中の 変動額(純額)	175,001	195	175,197	175,197
連結会計年度中の変動額合計	175,001	195	175,197	1,220,142
平成23年3月31日 残高	△280,901	7,139	△273,762	39,617,217

(注)繰延ヘッジ損益は、関係会社である昭和情報機器株式会社に対し、持分法を適用した結果、発生した項目であります。

Non-consolidated Financial Statements [単体財務諸表]

単体貸借対照表(要旨)

科 目	(単位:千円)	
	当事業年度末 平成23年 3月31日現在	前事業年度末 平成22年 3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,329,128	17,195,727
固定資産	15,253,823	17,523,538
有形固定資産	3,783,909	5,791,386
無形固定資産	128,063	116,814
投資その他の資産	11,341,850	11,615,336
資産合計	30,582,951	34,719,266
負債の部		
流動負債	3,384,330	3,591,359
固定負債	589,781	661,446
負債合計	3,974,112	4,252,805
純資産の部		
株主資本	26,843,443	30,781,299
評価・換算差額等	△234,603	△314,838
純資産合計	26,608,839	30,466,460
負債純資産合計	30,582,951	34,719,266

単体損益計算書(要旨)

科 目	(単位:千円)	
	当事業年度 (平成22年4月 1 日から 平成23年3月31日まで)	前事業年度 (平成21年4月 1 日から 平成22年3月31日まで)
売上高	19,779,066	23,159,815
売上原価	10,989,231	12,892,489
売上総利益	8,789,835	10,267,326
販売費及び一般管理費	6,549,852	6,494,819
営業利益	2,239,983	3,772,506
営業外収益	1,298,799	1,281,697
営業外費用	2,299	—
経常利益	3,536,483	5,054,204
特別利益	74,915	279,929
特別損失	1,076,075	748,784
税引前当期純利益	2,535,323	4,585,349
法人税、住民税及び事業税	817,584	1,703,447
法人税等調整額	352,551	△267,685
当期純利益	1,365,187	3,149,587

単体株主資本等変動計算書(要旨)

株主資本等変動計算書(要旨)
 当事業年度(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)
 (単位:千円)

	株 主 資 本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金	別途積立金	繰越利益剰余金		
平成22年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	8,371,830	372,109	4,600,000	18,764,738	23,736,847	△9,261,478	30,781,299
事業年度中の変動額									
剰余金の配当						△1,106,772	△1,106,772		△1,106,772
当期純利益						1,365,187	1,365,187		1,365,187
自己株式の取得								△51	△51
分割型の会社分割による減少						△4,196,220	△4,196,220		△4,196,220
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)									
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—	—	△3,937,805	△3,937,805	△51	△3,937,856
平成23年3月31日 残高	7,934,100	8,371,830	8,371,830	372,109	4,600,000	14,826,933	19,799,042	△9,261,529	26,843,443

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成22年3月31日 残高	△314,838	△314,838	30,466,460
事業年度中の変動額			
剰余金の配当			△1,106,772
当期純利益			1,365,187
自己株式の取得			△51
分割型の会社分割による減少			△4,196,220
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	80,235	80,235	80,235
事業年度中の変動額合計	80,235	80,235	△3,857,620
平成23年3月31日 残高	△234,603	△234,603	26,608,839

当社ホームページのご案内

当社ホームページにて、決算短信などの財務情報のほか、各種IR資料、株式情報、株主優待のご案内なども掲載しています。
どうぞお気軽にアクセスしてみてください。



URL: <http://www.mars-eng.co.jp>

株式の状況

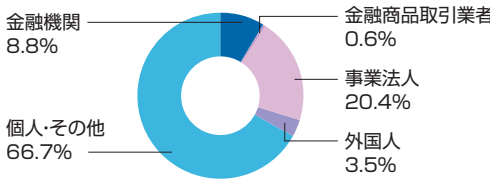
発行株式数及び株主数

発行可能株式総数	6,762万株
発行済株式の総数	2,272万株
株主数	12,975名

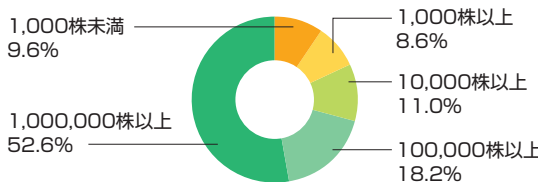
大株主の状況

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
(株)イー・エムプランニング	4,521	24.51
松波廣和	1,134	6.15
松波香代子	1,028	5.57
松波明宏	1,000	5.42
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託 東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	600	3.25
古宮重雄	490	2.66
五味輝雄	450	2.44
永井美香	432	2.34
大矢俊寿	388	2.10
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND	350	1.90

所有者別分布状況



所有株数別分布状況



会社概要

商号	株式会社マースエンジニアリング (Mars Engineering Corporation)
本社所在地	東京都新宿区新宿一丁目10番7号
設立年月日	昭和49年9月13日
会社の目的	1. 各種電子機器の設計・試作並びに製造販売 2. ソフトウェアの開発 3. 電子機器の開発、企画並びに販売 4. ホテルの経営 5. 不動産の賃貸業 6. 建築工事の企画、設計並びにコンサルティング業務 7. 損害保険代理店業 8. 前各号に付帯する一切の業務
資本金	7,934,100,000円
就業者数	489名(男446名、女43名)

役員 (平成23年6月29日現在)

代表取締役会長	古 宮 重 雄
代表取締役社長	松 波 明 宏
取締役相談役	松 波 廣 和
取締役	村 上 浩 浩
常勤監査役	佐 藤 忠 義
監査役	竹 俣 耕 一
監査役	小 林 郁 夫

執行役員 (平成23年7月1日予定)

常務執行役員営業本部長	秋 山 裕 和
常務執行役員管理本部長	佐 藤 敏 昭
執行役員技術開発部長	井 出 平三郎
執行役員品質保証部長	名 取 満 郎
執行役員営業本部副本部長	秋 山 学

MARS
History 10
(全10回)

東証一部上場！本業好調！そして新市場へ。

ICカード&コインシステム、RFID※。
新たなステージへ果敢なる挑戦。



2001年(平成13年)9月に、東京証券取引所市場第一部に株式の指定替えを行うことができました。この期(28期)の連結売上高は214億円と、当時の売上目標を達成し、一部上場に華を添える結果となりました。

その原動力となったのが、マースの飽くなき挑戦する姿勢でした。業界内の動向に敏感になっていたマースは、遊技台メーカーが共同で株式会社ジョイコシステムズを設立し、ICコインが本格的に導入される動きをつかみます。この動きに急速対応すべく、関係者を東富士工場に集め、3週間後にはコイン方式のCRサンドの開発に着手。前年にマースグループの仲間入りを果たした株式会社ウインテックの技術も結集し、見事なコラボレーションで独自のICコインシステムの開発に成功しました。

翌2002年(平成14年)開催された展示会では、数ある展出作品のうち、特にICコインシステム「RB-70紙幣識別機」に注目が集まったのです。この紙幣搬送の不要な世界最小の4金種

対応機種は、その使い勝手の良さが高く評価され、業界の認知度も高まり、その結果、プリペイドシステム(ICカード&コインシステム)の導入店が1,000店舗を突破するまでに至りました。

こうした本業の好調さにとどまらず、新たな可能性を追求するマースの挑戦は続きます。本業の傍ら、マースでは長年培ってきた認証技術を他の産業へ応用すべく、RFIDの分野へも研究開発を続けてきました。一連の努力の成果が認められ、グループ会社の株式会社マーステクノサイエンスは、経済産業省から研究開発事業の委託を受け、アパレルRFIDシステムの推進委員会事務局に指名されました。これを機に自動認識展などへの出展を通じ、マースの新たな一面をアピールしていくことになります。

創業30周年を目前に、連結売上高300億円を達成したマースは、創業時からの飽くなきチャレンジ精神の勢いを止めることなく、新たな市場へも果敢に挑戦する道を選んでいったのです。

※RFID 「電波による個別認識(Radio Frequency Identification)」の略で、電波や電磁界を利用して近距離の無線通信を行う技術のことです。マースでは本業であるパチンコ関連事業のプリペイドシステムにおいて、このRFIDの技術をすでに導入し、業界から高い評価を受けていました。RFIDの技術を他の分野へ応用すべく、現在も更なる開発を続けています。